

## 実施概要

### 1. 名称

勉強会「米国における IR 実践を通して考える日本型 IR」について

### 2. 日時・会場

平成 25 年 11 月 12 日（火）13:30～16:50

立命館大学朱雀キャンパス 1 F 多目的室

[http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap\\_suzaku\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_suzaku_j.html)

（京都市中京区西ノ京朱雀町 1）

### 3. 対象

IR 担当者や、IR に興味があり大学評価や学務、経営企画等に関連する調査などに従事したことがある教職員のうち、積極的に議論に参加したい者。

### 4. 参加者

27 名

### 5. 参加費

徴収しませんでした。

### 6. タイムテーブル

13:30－13:35 趣旨説明（小湊）

・代表幹事の小湊（九州大）のほうから本日の趣旨説明を行った。

13:35－15:47 講演&ディスカッション

「ミネソタ州立大学機構ベミジ州立大学における IR 業務とその背景について」

藤原宏司（ミネソタ州立大学機構・ベミジ州立大学：IR・IE オフィス）

・今回は米国で一般的な、リアルタイム質疑応答・補足スタイルで実施します。また、ハンドアウトの事前配布はありません。（後日、配布します）

・小湊（九州大）が司会となり、先日ベミジ州立大学に訪問調査に伺った浅野（NIAD-UE）、大野（鳥取大）、畷田（茨城大）が随時、補足説明を行います。

・もちろん、参加者の方からの質問、補足事項に関するご発言も歓迎します。

・掘り下げたほうがよさそうな話題が出てきた場合、小規模なディスカッションを行う場合もあります。

（14:52－15:00 および 15:47－15:55 休憩）

15:55-16:48 質疑応答

- ・質問・感想紙にご質問やコメントをご記入いただき、ほぼすべてのご質問にお答えした。
- ・藤原氏の27問の質問・コメントへの応答の中で、それぞれの大学が抱える課題に対してそれぞれヒントをお持ち帰りいただきつつ、参加者間でも共有を図った。

16:48-16:55 情報交換タイム

- ・感想を周りの方とお話しいただいたり、みんなの前で質問しづらかったことなどを講演者にご質問いただく時間として、本来はもう少し確保してあったが、質疑応答に振り替えました。